

【集計結果】

6月10日（火）～11日（水）

「女性のための全国一斉労働相談—STOP！セクハラ・パワハラ・マタハラ—」

6月10日（火）～11日（水）に全国の地方連合会において実施した「女性のための全国一斉労働相談」について、下記の通り集約概要を報告する。

今回は、女性からの相談で特に多い3つのハラスメントをテーマにし、セクハラやマタハラなどの相談に対応するため、地方連合会の女性委員会委員や女性の役職員、地元の女性推薦議員など女性の相談員を多く配置した。また、昨年引き続き、今回の相談キャンペーンに合わせて、「第2回マタニティハラスメント（マタハラ）に関する意識調査」を実施し、6月5日（木）公表している。

【全体の特徴】

■ 昨年とほぼ同じ件数の相談に対応

2013年5月27～28日に実施した「働く女性のための労働相談」との比較では、相談件数は昨年実施のキャンペーン期間とほぼ同じ676件となった。相談者が連合の労働相談を知ったきっかけは、全国・地方のテレビ放送からが37.4%と全体の3分の1以上を占め、影響力の高さがうかがえる。次いで、新聞・雑誌が25.5%で、地方新聞や自治体の広報誌へ掲載された等、地域に密着したPRの効果がみられた。

■ 「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」「マタハラ」が女性の相談の3割強

相談者の性別割合は、キャンペーンの対象者である女性が8割を占めた。女性の相談内容では「セクハラ、パワハラ・嫌がらせ」が26.9%と最も多く、次いで「解雇・退職強要・契約打切」8.0%、「雇用契約・就業規則」7.0%と続く。女性特有の妊娠・出産に関する相談も4.4%と、通常の相談よりも多い割合となった。

■ 女性が当たり前働ける職場環境の整備が必要

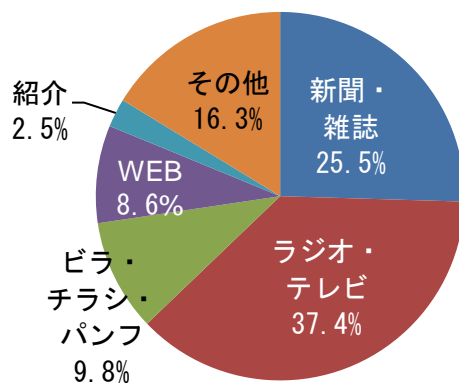
女性からの相談内容は、上司や安定している雇用形態の立場を利用し、理不尽な叱責や暴言を吐くなどパワハラに関する相談が多く寄せられた。また、「結婚はまだか」といったプライベートな部分に触れる発言や、2人きりになるとキス・体を触る等、卑劣な行為に苦しむ女性の相談も目立った。中には、30年前の相談も寄せられた。ハラスメントがいかにか被害を受けた側の心に傷を残すのか、簡単には癒せない問題の根深さがうかがえる。連合は引き続き、女性労働者やこれから社会に出ていく女性が当たり前働いていける職場環境や制度の整備に取り組んでいく。

		2014年			2013年		
集計対象期間		6月10日～6月11日			5月27日～5月28日 「働く女性の労働相談」		
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		676			677		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	134	19.9%	男性	148	22.1%	
	女性	539	80.1%	女性	522	77.9%	
年代 (不明除く)	10代	1	0.2%	10代	0	0.0%	
	20代	69	13.0%	20代	53	11.8%	
	30代	118	22.2%	30代	118	26.3%	
	40代	173	32.6%	40代	166	37.1%	
	50代	114	21.5%	50代	65	14.5%	
	60代	51	9.6%	60代	41	9.2%	
	70代	5	0.9%	70代	5	1.1%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	257	40.3%	正社員	287	52.4%	
	パート	202	31.7%	パート	122	22.3%	
	アルバイト	27	4.2%	アルバイト	10	1.8%	
	派遣社員	33	5.2%	派遣社員	28	5.1%	
	契約社員	52	8.2%	契約社員	40	7.3%	
	嘱託社員	9	1.4%	嘱託社員	6	1.1%	
	臨時・非常勤職員	5	0.8%				
	その他	52	8.2%	その他	55	10.0%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療、福祉	106	21.5%	医療、福祉	82	20.3%
	2位	製造業	69	14.0%	卸売・小売業	74	18.3%
	3位	卸売・小売業	65	13.2%	サービス業	63	15.6%
	4位	サービス業	61	12.4%	製造業	46	11.4%
	5位	飲食店、宿泊業	26	5.3%	金融・保険業	18	4.5%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ、パワハラ・嫌がらせ	159	24.2%	セクハラ・嫌がらせ	107	15.9%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	54	8.2%	解雇・退職強要・契約打切	64	9.5%
	3位	雇用契約・就業規則	44	6.7%	就業規則・雇用契約	52	7.7%
	4位	年次有給休暇	31	4.7%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	51	7.6%
	5位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	29	4.4%	女性保護	48	7.1%
	〃	退職金・退職手続き	29	4.4%			

女性に限った相談内容（上位）

	内容	件数	割合
1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	142	26.9%
2位	解雇・退職強要・契約打切	42	8.0%
3位	雇用契約・就業規則	37	7.0%
4位	年次有給休暇	24	4.6%
5位	母性保護(マタハラ)	23	4.4%

キャンペーンの情報源



【相談事例】

〈セクシュアルハラスメント〉

- 営業の業務上、得意先との接待があり「後でホテルに行こう」と夜中でも誘いの電話がかかってくる。自分の上司もセクハラをしてくる。かつて、セクハラで訴えた女性の先輩は遠方へ左遷され、上司はとどまっている。対処法が分からない。
(20代/正社員/製造業/中国)

- 「●●さんの隣に行きたいがあなたの隣で我慢してやろう」「結婚はまだしないのか」等、社長からのセクハラ発言に困っている。辞めることも考えている。
(20代/正社員/建設業/中国)

- 過去の話だが、大学卒業後、正社員として勤め始めた。新人研修に行った時、バスでの移動中アダルトビデオを見せられた。当時女性は私1人で、他には上司1人と若い男性20人が車内にいた。また、仕事を始めてからは、差別されたり仕事を与えてもらえなかったりなどの仕打ちを受け、1年半で辞めてしまった。
(50代/正社員/卸売・小売業/関東)

- 同じ部署の課長に倉庫に呼ばれ、無理矢理キスされた。半年の契約社員ということもあり、立場上我慢していた。行為はどんどんエスカレートしていった。休日には、机の上や引き出しの中、パソコンなどすべてをチェックされている。キスされたりおしりを触られることに対して嫌だということ伝えたが、「これは俺の性格だから、知ってるでしょ？嫌ならその時（行為をされた時）にちゃんと拒否すればいい」と開き直られた。きつく言うことで自分の評価が下がったり契約を打ち切られたりしたら困るがどうしたらいいのか。
(20代/契約社員/業種不明/地域不明)

〈パワーハラスメント〉

- 入社して数ヶ月経った時、上司よりセクハラ（体を触ったり抱きついたり）を受け、当時の総務部長に相談したところ、直接的なセクハラはなくなった。その後新しい総務部長になったとたん、上司から「お前のせいで始末書を書かされた」「お前の査定はおれがやるんだから」等、言葉によるハラスメントが酷くなってきた。新しい総務部長は「聞かなかったことにしてくれ。話を聴いても力にはなれない」と言う。ストレスが原因でメンタル不全になり通院治療を受けている。
(年代不明/正社員/製造業/東海)

- 男性の同僚から日常的にパワハラ・セクハラ行為を受けている。職場では私が休みを取れば「誰の許可を得て休んだ」など上司でもないのに恫喝される。勤務時間が違うにも拘わらず私の退社時間に合わせて残業し、退社時に「お茶でも飲みに行こう」と誘いをかけてくる。断ると大声で罵声を浴びせられる。2年ほどこうした行為が続いており、最近では恐怖を感じている。
(40代/パート/卸売・小売業/東海)

- 英語の主任常勤講師から言葉による暴力と異常なノルマを与えられ、今まで数名の講師がメンタル不全をおこして退職したり、転勤等になっている。校長にはうまく振る舞っているため、校長に対策をお願いしてもパワハラが収まらない。
(臨時・非常勤職員/教育、学習支援業/四国)

〈マタニティハラスメント〉

- 嘱託職員として勤めていたが、正職員転換を申請したところ、使用者から「1年くらいは子どもをつくらないでほしい」と言われたため、退職した。その際、嘱託職員には、産前産後および育児休暇は「規約」によって認められていないとも言われた。(30代/嘱託社員/医療、福祉/東海)

- 現在妊娠8ヶ月になる。産休に関する特別休暇を申請したところ、できれば有給休暇を使ってほしいと言われた。また、産休後職場に復帰したい旨を男性上司に伝えたところ、「子どもを産んでからも働くの？」と言われ、精神的に追い込まれている。もう少し子どもを産む女性のことを考えてほしい。(20代/契約社員/業種不明/東北)

- 正社員で働いていたが、妊娠・出産後にパートに変更させられた。職場には産休後も復帰した人はいる。産休中給料はもらえず、就業規則は見たことがない。産休明け、子どもが病気のため、3週間会社を休んだことで「子どもが大事なら子どもの面倒をみていた方が良いのでは（遠まわしに辞めろ）」と言われた。仕事を続けたいが小さな会社のため、相談する人がいない。(20代/パート/業種不明/関東)

- 出産し働きだしてから、上司に育児休業を申請しようとしたが、上司から「育児休業は子どもが病気した時でない限り取れない」と言われた。(30代/正社員/医療、福祉/東北)